

## 財務諸表の注記

特定非営利法人ハロハロ

2019年12月31日 現在

### 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用しております。

#### (2). 固定資産の減価償却の方法

該当する有形・無形の固定資産はありません。

#### (3). 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

該当事項はありません。

#### (4). ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

#### (6). その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

##### ・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、福利厚生費及び旅費交通費については従事割合に基づき按分。

### 【会計方針の変更】

#### 【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

#### 【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

[税込] (単位: 円)

内容	金額	算定方法
日本事務局ボランティア 386.65時間	405,983	単価は、2019年末のアルバイトの時給1,050円/時間を参考に算出
フィリピン現地ボランティア 352時間	369,600	単価は、2019年末のアルバイトの時給1,050円/時間を参考に算出

#### 【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は-654,091円ですが、そのうち0円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は-654,091円です。

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
らあ麺屋ひろ教育基金	0	477,155	477,155	0	
日本国際協力財団助成金	0	1,754,222	1,754,222	0	
アジア生協助成金	0	980,000	980,000	0	
水環境基金	0	2,980,000	2,480,000	0	当期増加額との差額50万は前受助成金として貸借対照表に計上
スマイルbyJEC	0	200,000	200,000	0	
大阪コミュニティ財団	0	300,000	180,000	0	当期増加額との差額12万は前受助成金として貸借対照表に計上
地球環境基金	0	2,000,000	749,000	0	助成総額は200万、差額1,251,000円は未収金として貸借対照表に計上
合計					

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
なし						
合計						

【借入金の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	4,674,369	0		
合計				

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位: 円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配関係人等との取引
(活動計算書)			
活動計算書計	0	0	0
(貸借対照表)			
長期借入金	3,574,561	3,574,561	0
活動計算書計			

\*長期借入金は2019年5月25日まで役員だった成瀬悠氏との取引です。同年5月26日以降は事務局長として役員との取引ではなくなっています。

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】